



今年度のESDの重点目標

防災活動を通して、スクールコミュニティの形成を図る

【令和3年度 ESD 実践報告】

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



01 DIG（災害図上訓練）やHUG（避難所運営ゲーム）への取組

2年生が防災学習の一環として、市社会福祉協議会の方を講師にお招きして、DIGとHUGの活動に取り組みました。活動当日は、地域の自治会や防災組織、八千代東高校の生徒にも参加していただき、一緒に地域の災害を想定した対処法を考えたり、学校が避難所になった際の運営方法を考えたりしました。



02 八千代市福祉協議会とのパートナーシップ協定締結

12月16日に、八千代市長や市議会議長、市教育長など、多くの方にお越しいただき、災害時パートナーシップ協定調印式を行いました。昨年末から、震度5を超える地震が山梨県の富士五湖や和歌山県沖、鹿児島県沖や大島沖で起きている。阿蘇・米本地域のスクールコミュニティの中心を担う学校として、今後も防災教育を推進し、地域の防災活動に貢献できる生徒の育成を目指すことを約束しました。



03 AEDによる救命体験と避難所仮設トイレ設営及び担架運搬訓練

3年生の防災教育の一環として、八千代消防署の方からAEDを使った救命方法を、八千代市危機管理課の方からは防災倉庫にある災害用トイレの設置や担架での搬送について教えていただきました。大規模災害が起きた時に、地域の方と連携・協働して被災者支援活動を行う「共助」について学びました。

